

TOPIC 1

2024年4月5日

コラボラキャンパスネットワーク 連携協定締結式

◆2006年からはじまったコラボラキャンパスネットワーク活動も19年目になりました。今年度も北九州市立大学と5つのNPO（計6団体）が活動を展開します。この1年も多世代の豊かな活動をすすめていきたいですね。



入学式の日の午後、連携協定締結式で柳井雅人学長（中央）と懇談のひとつときを過ごしました。



NOボランティア NOライフ！

主催 | コラボラキャンパスネットワーク

“ボランティアの未来”は、
どうなっていくだろう？

11月11日（月）10:00～12:00

会場：フランキー・ウー アジア国際交流ホール
カンファレンスルーム

「ボランティアのこと、若い人や子どもたちはどう思っているんだろうね？」
「忙しいのに、なんでボランティアするの？って、子どもに言われた」そんなやりとりから生まれた企画です。

小倉南区の小代智昭（おじろともあき）さん、北九州市立大学4年でコラボラの活動をしている鐘ヶ江和胡（かねがえわこ）さん、小倉北区の山下篤代（やましたあつよ）さんにお話をうかがいました。

3人のお話から、きっかけや、活動で気づいたことなど、楽しそうな様子が伝わってきました。「とびこむチカラがついた」「（ボランティアの誘いは）ふみこんでほしくない、という気持ちとふみこんでほしい、という気持ちがある」「（これをしなきゃではなく）ちょうどよくほったらかしてくれる」（鐘ヶ江さん）、
「人は知らない間にボランティアをしている」「活動で今までにない価値観を知った」「自分の子どもだけ幸せな社会はない！」（小代さん）、
「気になる子がいて、その子と一緒にできることをはじめた」「小学生から“あっちゃん”と呼ばれる嬉しさ」「子どもたちが市民センターになじんで子どもボランティアが20人集まった」（山下さん）など、人や思いが繋がっていくことを実感します。

コメンテーターの恒吉紀寿先生（北九州市立大学教授 社会教育学）は、3人の方の「楽しさ」や「やりたい（自発性）」気持ちを挙げて、こんな風に投げかけました。

「『お金ももらわないのに、どうしてするの？』と言われてたら、もう、利潤を追求する資本主義に吞まれているのでは？（裏返すと、お金をもらったら闇バイトもするの？）、『時間がないのにどうしてするの？』と言うけど、自身の“社会貢献の精神”にもとづき、必要・大切と思うことをやりたい気持ちにあなたは向き合っている？」と…。ボランティアの歴史的な流れをうかがい、この時代に活動している3人の方の臨場感あふれる話を結びつけると、わたしたちは、現在ある制度などの枠外で、社会に必要なだと思ふことを日々生み出しているんだな、と思えました。また、これまでのいろいろな活動の中から、先人がカタチにしてくれたものを思うとき、決してお金のやりとりの中だけで、くらしの大事なものが生み出されたのではないな、と気づきました。ボランティアってやりたいし、思わずやってしまうものなのかも？



学生、子育て中の親、ボランティア活動をする方など、多くの市民の参加がありました



*登壇者
左から鐘ヶ江さん、小代さん、山下さん
*コメンテーター 恒吉先生（右）

TOPIC 2



2024
8/21

| 主催 | 北九州市立大学 421Lab. (わくわくキッズPJ 英語で遊ぼうPJ 合同企画)
| 協力 | コラボラキャンパスネットワーク

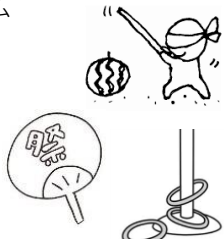
北九州市立大学 大学生夏休み企画 親子で大学生と遊ぼう！



ミニプレーパーク同時開催！

アイデア満載！学生の遊びのブース

- * すいか割りゲーム
- * 宝さがし
- * 的あて
- * ヨーヨー釣り
- * 輪投げ
- * けんけんぱ
- * うちわ作り
- * お絵かき
- * 葉っぱで遊ぼう (コラボラ菜園)
- * お化け屋敷 (プレイセンターハロハロ OB)
- * プール遊び (ミニプレーパーク)



■午前・午後、2部に分かれて、教室、キャンパス中庭で繰り広げられた夏祭り。
100人を超える参加があり、一日を通して、楽しく交流できました。



▲ホワイトボードにかわいいタイトル画！



▲夏祭りの朝 みんなでミーティング中！

学生、コラボラキャンパスネットワークのメンバーと協力しあいながら、盛り上がった夏祭り！

■親子と学生、「遊び」を通して充実した時間が過ごせました！



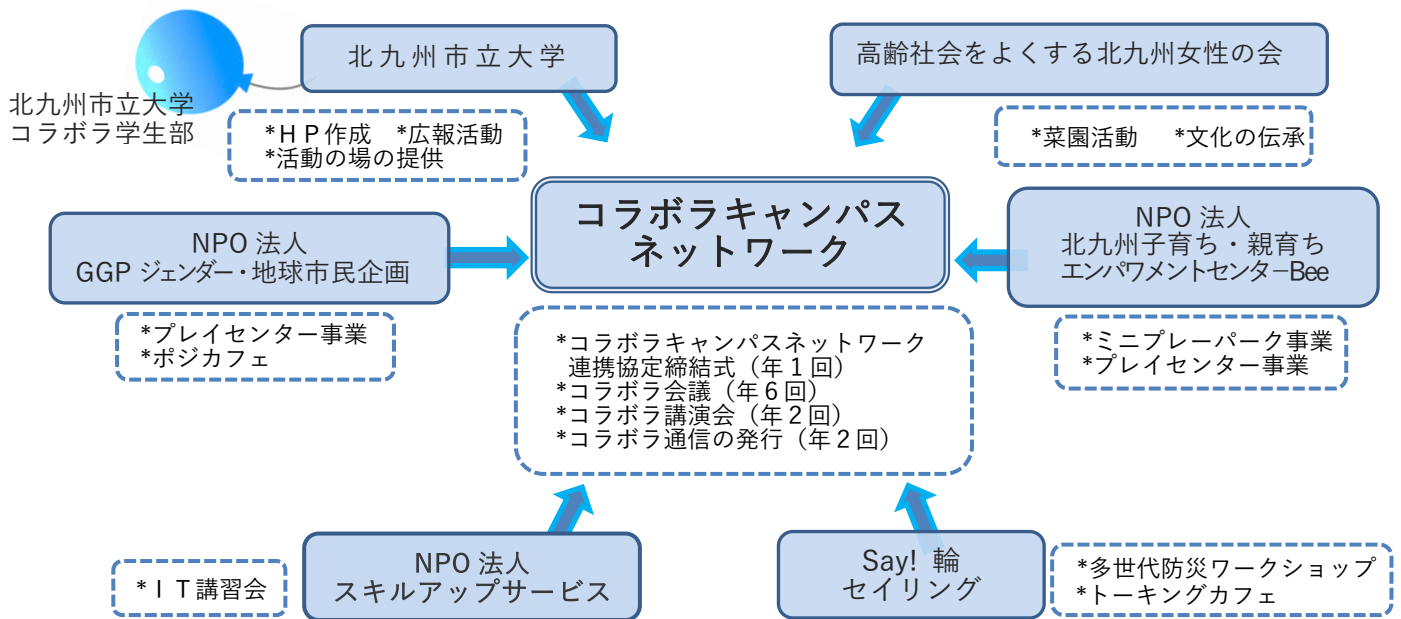
学生の感想

■私は、今回初めて夏祭りに参加させていただくことになりました。今まで関わってこなかった年齢の子どもたちと、うまく接することができるのか、楽しんでもらえるのかと心配なことがつきませんでした。子どもたちに「もっとしたい！」と喜んでもらえて、準備を頑張ってよかったと思えました。また、子どもたちは、用意していた遊びを自由に広げていて、子どもたちの発想に驚かされ、貴重な体験ができたと思います。

文学部 比較文化学科1年 吉原花音さん

----- コラボラキャンパスネットワークとは -----

「北九州市立大学」/「NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」/「高齢社会をよくなる北九州女性の会」/「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」/「NPO法人スキルアップサービス」/「Say! 輪」(セイリング) の計6団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。
普段なかなか接することの少ない学生と地域の方々が、北九州市立大学北方キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。



小倉南区親子ふれあいルーム“さざん”
コラボラキャンパスネットワークの中から立ち上げた実行委員会が、北九州市の委託を受けて運営しています。